

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	幼児歯科保健事業			事業コード	0314
所属コード	069200	課等名	健康推進課	係名	母子保健担当
課長名	津志田 和彦	担当者名	小笠原 信子	内線番号	6215
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード	6
	基本事業	母子保健・予防の推進	コード	3
予算費目名	一般会計 4 款 3 項 2 目 幼児歯科保健事業 (002-03)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 7 年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

生涯にわたる歯の健康づくりのために、幼児に対して口腔内診査とむし歯予防のための歯科保健指導、永久歯（第一大臼歯）の保護育成の予防処置を行い、もって幼児の健全な発育に寄与する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

盛岡市歯科医師会から生涯のう蝕罹患の抑制に大きな成果をあげる 6 歳臼歯（第一大臼歯）の保護の必要性と幼児期からの 8020（80 歳で 20 本の歯を保つ）運動の推進について提言があり平成 7 年から実施。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

健康日本 21 プランに「歯の健康」として、幼児期や学齢期のう蝕予防が目標として明記されており、幼児歯科健診は 8020 運動の推進と共に、生涯を通じた健康づくりの基本となりますますます重要となる。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市内在住の5歳児

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 市内在住の5歳児数	人	2,721	2,523	2,700	2,710	2,700
B 歯科健診受診児数	人	1,952	1,760	1,998	1,897	1,998
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

◆ 5歳児歯科健康診査実施方法：市内指定歯科医療機関で個別受診。

① 5歳中に市内指定歯科医療機関で歯科健診を受診する。健診料は無料。

② シーラント予防処置は、①の受診児で保護者が希望した場合に必要時実施。

自己負担額：1歯当り 500円

◆ 周知方法

個別通知，市広報，市ホームページ，もりおか子育てブック，3歳児健診受診の保護者へのチラシ配布。

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 5歳児歯科健診受診率	%	71.7	69.8	74.0	70.0	77.0
B シーラント予防充填の対象本数	本	7,808	7,040	7,992	7,588	8,316
C						

77.0 8,316

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

8020を達成するために、幼児期から歯科健診と6歳臼歯（第一大臼歯）の保護を行うことによって、口腔内の問題点を改善し、口腔ケアの意識を高めう蝕有病者を減少させる。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 5歳児歯科健診受診児のうち蝕有病者率	<input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	56.1	56.7	55.0	54.4	54.0
B シーラント予防充填の実施本数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	本	2,709	2,693	2,797	2,565	2,994
C 毎日仕上げ磨きをしてもらっている5歳児の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	83.6	71.6	80.0	73.2	84.0

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	9,334	8,850	9,181	8,998
	⑤その他(自己負担金)	千円	1,355	1,347	1,357	1,283
	A 小計 ①～⑤	千円	10,689	10,197	10,538	10,281
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	564	589	594	589
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	2,256	2,356	2,376	2,356
計	トータルコスト A+B	千円	12,945	12,553	12,914	12,637
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

6歳臼歯（第一大臼歯）を保護し口腔ケアを習慣化することは、健康増進に繋がる。

② 市の関与の妥当性

幼児歯科健診の意識レベルは向上しているが、3歳児健診以降保護者の意識が薄れる傾向があることから、市がこの時期に再度意識を啓発することは有意義。

③ 対象の妥当性

6歳臼歯（第一大臼歯）の萌出時期は個体差があり予防の観点からは現状のままで良い。

④ 廃止・休止の影響

6歳臼歯（第一大臼歯）の保護育成を図り、幼児期のう蝕有病者率の減少や口腔ケアの意識を高めることは、8020達成に関わり住民の健康増進に影響を及ぼす。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

受診率が向上することにより歯科保健の重要性が啓発される。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

すでに受益者負担により実施している。

(4) 効率性評価

事業費（委託費）は、H17年度見直しを行っておりH24年度は見直す余地はない。
事業に係る事務は、最低人数で行っているのが現状。

4 事務事業の改革案（Plan）

(1) 改革改善の方向性

無

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

8020 運動を推進するに当たり、幼児期の歯科保健は、重要な意味があり、当市では、1 歳から 5 歳まで切れ目のない検診を実施している。受診率の向上を目指したい。

○方向付けの理由と改革改善の内容

生涯にわたる歯の健康づくりのために、幼児に対して口腔内診査とむし歯予防のための歯科保健指導、永久歯（第一大臼歯）の保護育成の予防処置を行うこの事業は、幼児の健全な発育のために継続して実施する必要がある。